

業況特別調査（令和元年6月）

「人材採用等についてのアンケート」調査結果

調査期間：令和元年6月3日（月）～14日（金）

回答率：26.3%（191/724社）（昨年：26.2% 191/730社）

問1. 新卒の採用計画、採用実績について

191社回答のうち、58社（30.3%）は、平成30年度新卒の採用計画及び実績、又、令和元年度新卒の採用計画もない企業である。

< A-1：人数による集計 >

	大卒・院卒	短大・高専・専門卒	高卒	合計
令和元年度 採用計画 (H30 計画比) (H30 実績比)	369人 79社 (6.0%) (31.8%)	104人 39社 (9.5%) (57.6%)	461人 107社 (1.8%) (36.4%)	934人 225社 (4.2%) (36.5%)
平成30年度 採用計画	348人 73社	95人 38社	453人 102社	896人 213社
平成30年度 採用実績 (H30 計画比)	280人 53社 (▲19.5%)	66人 31社 (▲30.5%)	338人 75社 (▲25.4%)	684人 159社 (▲23.6%)

上から採用人数、回答企業数、（ ）内は各比率

- ・令和元年度採用計画は、平成30年度より4.2%（昨年9.1%）増加している。
- ・平成30年度採用計画と採用実績の人数のみの比較では、大卒・院卒は▲19.5%と昨年同様（昨年▲27.6%）採用計画を下回っているが、若干改善している。
- ・合計を見ると、令和元年度採用計画と平成30年度採用計画では4.2%の増加、令和元年度採用計画と平成30年度採用実績では36.5%（昨年43.1%）の増加。
- ・平成30年度採用実績と計画の比較では、大卒・院卒は▲19.5%と計画より実績が下回り、短大・高専・専門卒は▲30.5%（昨年▲18.1%）、高卒も▲25.3%（昨年▲20.8%）と大幅に計画を下回り、合計でも▲23.6%（昨年▲23.7%）と、昨年同様に採用環境は厳しい状況である。

< B-1 : (企業単位での増減比較) 令和元年度採用計画と平成 30 年度採用計画との増減比較による集計 >

	大卒・院卒	短大・高専 ・専門卒	高卒	新卒採用 全体
増加 R1 採用計画 > H30 採用計画	21.7% 18 社	33.3% 16 社	27.0% 30 社	26.4% 64 社
同様	61.4% 51 社	45.9% 22 社	54.1% 60 社	55.0% 133 社
減少 R1 採用計画 < H30 採用計画	16.9% 14 社	20.8% 10 社	18.9% 21 社	18.6% 45 社
合計	100% 83 社	100% 48 社	100% 111 社	100% 242 社

上段は各構成率、下段は回答者数

※ 1 名でも増えていると増加、1 名でも減っていると減少とカウント。

< B-2 : 平成 30 年度の採用実績と採用計画との比較 >

	大卒・院卒	短大・高専 ・専門卒	高卒	新卒採用 全体
増加 採用実績 > 採用計画	15.4% 12 社	26.7% 12 社	18.3% 19 社	18.9% 43 社
採用計画と同数採用	15.4% 12 社	35.5% 16 社	32.7% 34 社	27.3% 62 社
減少 採用実績 < 採用計画	69.2% 54 社	37.8% 17 社	49.0% 51 社	53.8% 122 社
合計	100% 78 社	100% 45 社	100% 104 社	100% 227 社

・平成 30 年度の採用実績と採用計画の比較においては、全体では、計画を下回る企業が 53.8% (昨年 55.3%) となっている。

・平成 30 年度は 昨年並みに計画通りに採用が進まなかったという結果 になった。

問 2. 令和元年度採用計画が前年採用計画より増加した理由。

	令和元年 6 月	平成 30 年 6 月
既存事業の繁忙が見込まれるため	26.4% (19 社)	51.7% (45 社)
新規事業拡大のため	6.9% (5 社)	4.6% (4 社)
計画通りに採用できなかったため	47.2% (34 社)	26.5% (23 社)
その他	19.5% (14 社)	17.2% (15 社)
合計	100% (72 社)	100% (87 社)

問3. 問1に関連して、人材不足を補うために年度途中の採用者数について

	平成30年度	平成29年度	増減率
中途採用者	730人(153社)	599人(134社)	21.9%(41.2%)

問4. 定年後の継続雇用者、派遣社員、パート・アルバイトの人員の増減について、1年前との比較

<人数別比較>

	令和元年6月	平成30年6月	増減率	昨年参考
継続雇用者	1,220人(133社)	1,118人(129社)	9.1%	11.8%
派遣社員	2,794人(84社)	2,834人(90社)	▲1.4%	6.7%
パート・アルバイト	887人(115社)	910人(119社)	▲2.5%	16.2%
外国人実習生	912人(66社)	627人(59社)	45.4%	30.1%

<企業別増減比較>

	増加	横ばい	減少	合計
継続雇用者	50.0% 67社	38.1% 51社	11.9% 16社	100% 134社
派遣社員	34.8% 32社	22.8% 21社	42.4% 39社	100% 92社
パート・アルバイト	21.8% 27社	48.4% 60社	29.8% 37社	100% 124社
外国人実習生	76.1% 51社	13.4% 9社	10.5% 7社	100% 67社

※1名でも増えていると増加、1名でも減っていると減少とカウント。

- ・継続雇用者は、人数別比較で見ると、9.1%の増加であり、企業毎による増減比較では増加50.0%、減少11.9%となっており、**企業単位で見ても増加傾向にある。**
- ・派遣社員は、人数別比較で見ると、▲1.4%と微減となり、企業毎による増減比較でも、増加34.8%、減少42.4%となっており、**企業単位で見ても減少傾向にある。**
- ・パート・アルバイトは、人数別比較で見ると、▲2.5%の減少となり、企業毎による増減比較では増加21.8%と減少29.8%となっており、**企業単位で見ても減少傾向にある。**
- ・外国人実習生は、人数別比較では45.4%の増加であり、企業単位で見ても**増加している。**

<国籍別構成>

国籍	社数	R1.6月現在の人数(構成比)	H30.6月現在の人数(構成比)	増減率
ベトナム	40社	479人(52.5%)	331人(52.8%)	44.7%
中国	19社	179人(19.6%)	128人(20.4%)	39.8%
フィリピン	7社	165人(18.1%)	119人(19.0%)	38.6%
インドネシア	4社	35人(3.9%)	8人(1.3%)	337.5%
その他	6社	54人(5.9%)	41人(6.5%)	31.7%
合計	76社	912人(100%)	627人(100%)	45.4%

問4. 人材確保の現状についてのコメント

【人材不足】

- ・応募者はあるものの弊社の必要な人材の確保には十分つながらない。
- ・近い将来はミャンマー、ラオス、カンボジアからの実習生。

【社員の離職】

- ・仕事が出来ない人から離職する。途中入社の人離職する傾向にある。
- ・今年度に入り、アルバイト2名が退職。ハローワークより応募が3回あったが、審査不適正のため不採用。
- ・若い人の定着率が低い。
- ・新卒の定着率が悪い為中途採用者選択を余儀なくされる。

【採用難航】

- ・新卒者の採用が非常に困難。昨年より顕著に表れた。
- ・日本人を求人募集してもなかなか採用出来ないため、外国人実習生を増員。
- ・技術系社員を中途採用で募集したが見つからず、社内育成に方針を転換した。
- ・各種就職フェアやフォーラム、インターンシップ合同説明会に参加しているが全く応募がない。
- ・完全に学生に選ばれる側に企業はなってしまった。

【その他】

- ・県外からの派遣社員を県内の派遣社員・期間工へ切替たい。
- ・ハローワークからの応募が少なく、人材紹介を頼らざるを得ないため、採用コストが上昇している。
- ・地元の求人雑誌に掲載。求人案内をご覧になられた方の連絡が複数あり採用。
- ・当社の定年は65才ですが、定年後も続いて仕事が出来るとい人には、継続雇用として年数を決めずに雇用している。